

街にとび出せ！『コミュニティとアート』2022

学部授業「コミュニティとアート」では、毎年大学を飛び出して、街に出て柏原市内での活動を行ってきた。1年目は市内の地域商店会の交流スペース「ふれあい館オガタ」でのワークショップの実施、2年目は、新たにリノベーションされた古民家レストラン&多目的スペースにて作品展示、3年目は、リビエールホールでの「よしもと芸術文化祭」、をかしわらマルシェ&大正通り Re:スタート などのイベントに参加した。4年目は、「シャッターアート」、5年目は、地域の芸術祭に参加など、いろいろな形で地域とかかわってきた。6年目の2022年度の今年は、河内国分エリアでの活動を行った。拠点となったのは、地域商店会の事務局さんの店舗。いつもいろんな方が訪れる人気のお弁当屋さんでもある。地域のことを考えて、「もっと面白いことしたい」という感じで、マルシェなどのイベントを積極的に行っている。今年「おいな〜れ国分祭」というイベントも復活することと、学生たちは、アイデアを思いめぐらして、企画を考え参加した。

●「おいな〜れ国分祭」への参加 2022/11/19

河内国分駅周辺で行われた『おいな〜れ国分祭』に“EETOKO まっぶ”担当の「≡MAPS」と、ものづくりワークショップ担当の「ぐれ〜ぶす」の2班に分かれ参加した。

河内国分や柏原市の良さを伝えられる内容にするべく、「≡MAPS」では、当日来てくださった方々に、国分の“ええとこ”について聞き込みをし、それらを集めたマップを後日制作。

「ぐれ〜ぶす」は、河内国分駅前のtant-tant2階で、柏原市の名産であるぶどうをモチーフとした、“ぶどうメッセージカード”とぶどうカラーを編み込んだ“ミサンガ”作りの2つのワークショップを開催した。

当日は想定よりも多くの方にご参加いただき、地域の方々と関わり、“地域とつながる”という貴重な経験を得たと同時に、ワークショップの運営におけるメンバー間の連携や他者への思いやりなど、“人との関わり”の重要性を再確認することができた。



◆ものづくりワークショップ担当の「ぐれ〜ぶす」



今回のワークショップは老若男女問わず、多くの方に楽しんでいただけた。特にメッセージカードの方はかなり幅広い方々にもできるものであると感じられたため、これを応用として展開する際には、来た方にオリジナルのカードやキーホルダーを制作してもらったり手ぬぐいづくりに活かしたりなど、マーブリングそのものを活かした企画や、今回行った貼り絵でのメッセージカードで使用する紙をこのマーブリングした用紙で行うなど、色々な展開ができると思う。こういうモチーフを変えたり、メッセージカードではなく飾り用の絵を作ったり、サイズを変え本のしおり作りにするなど、色々展開できるだろう。

また、今回は会場の関係や内容の構成上、取り入れることができなかったが、構想段階では関西福祉科学大学の方々と交流の機会を得て、協力しながらマーブリングで色々な用紙の制作も行った。ワークショップのあったアート面での内容に、上手く地域の土産や良さを絡め活かしたワークショップを企画していくことができれば、ワークショップを通じてその地域を訪れるきっかけをつくることなど、その地域の活性化にも繋がれると思う。

●“EETOKO まっぶ”担当の「≡MAPS」



「おしえて！こくぶのEETOKO MAP」は、地域の方々から集めた河内国分の“ええとこ”をマップにして、新入生たちにとって貰おうという企画。その前段階として、情報収集に動きました。反省点も多い中、予想以上に集まった情報に国分の町の良さを再確認。



いただいた「ええとこ」コメントの集計
いただいた「ええとこ」コメントボードマップに収集

●クリスマス装飾（TT2店舗スペース） 2022/12/16~25



机には小さい丸を貼って作ったツリー、ビニールシートの中にぶどうカラーの丸い画用紙で作ったリース。イスにはクリスマスカラーのリボンを巻いた。

テーマ：「クリスマスを盛り上げる」
tant-tantさん2階の飲食スペースの装飾と、ベランダのイルミネーションの2つのクリスマスの装飾を約1週間行った。装飾の企画は「ぐれ〜ぶす」が担当したため、前回のイベントとつながりのあるものにするため、ぶどうのモチーフを取り入れた装飾を店内に施した。
飲食スペースということもあり、その機能には影響しないようにしつつ、そこにぶどうのモチーフをあえて取り入れることで地域とイベントとのつながりを意識した装飾を行った。イルミネーションは、周辺の街の明かりに負けぬようにライトの密度を上げ設置した。
この装飾の活動では、それを見る人のことを考えることが重要で、ここでも自分以外の他者、“人との関わり”を意識する大切さを感じた。

●“EETOKO まっぶ”の作成へ ≡MAPS

「おいな〜れ河内国分」で集めた情報をいよいよマップにしておくことに。メンバーは、さとさん、ゆのみ、らび、ぐっちゃん、まるちゃんの5名。役割分担を決め、計画的に作成。イベントやネットのアンケートで集めた情報を取捨選択し、どこまでマップに載せるのかというところから審議がスタート。一般的なパンフレットとの差別化を図り、大学生のオリジナリティを出す為に、実際に自分たちが町を歩き得た情報も盛り込むことに。ターゲット層である新入生にとって欲しい情報を考えぬいた時間となった。

表面のコラムデザインを主として担当。全体イメージと齟齬がないか、表紙と繋げた時の違和感が少ないかなどを重視しながら作成。複数の原案を提示し比較、チームから意見を貰い改善していくなかで、ゼロからイチのものづくりの大変さやチームワークの大切さを学ぶことが出来た。

今回は紙質もかなり拘っている。印刷見本を元に、持った時の質感、強度、見やすさ、価格に重点を置きながら話し合いを行った。連絡係として教授の意見も仰ぎながら、自分たちの納得のいくクオリティまで改善させたいと思い、大寒波による到着遅れの不安という時間との闘いの中で、お披露目会に何とか間に合わせることが出来た。



謝辞：ご協力いただいた市民のみなさま、お店の方々、会場をお貸しくださったタントタントさん、ほんとうにありがとうございました。

「この授業を通じて得たものはかなり多かった。単体で行動する勇気も、グループで活動するときの協働性も培われたように思う。物事は一人ではせず、お互いの強みを生かし、弱みをカバーし合いながら、計画性に活動することの難しさを学んだ。この1連の活動では、自分自身が成長できただけでなく、周囲の方の喜んで下さる姿も見ることができた。地域活性化のほんの一役でも担えたのであれば、これ以上嬉しいことはないように感じる。今後も地域活動へ繋がっていかれたらと考えている。」（受講生コメントより）